

平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

仏向地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

担当エリア：仏向町、仏向西、坂本町

- ・坂が多い地域で住民の多くが車やミニバスの公共交通機関を利用。
- ・地域的に人口増加が進んでおり、30～40歳代の若いファミリー層の増加が見られると同時に高齢化率も上昇しており、若い世代と高齢世代の世代間交流をいかに行っていくかが地域課題の一つです。
- ・第二期地域福祉保健計画では地区連合町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区社会福祉協議会と一緒に懇談会を開催し、地域課題の抽出を行いました。
- ・抽出された課題から、認知症に関する理解を深めることを地域の課題とし、勉強会や地域のお祭りを通じて認知症に対する理解を深める取組みを行ってきました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・安全で快適に利用しやすい施設とするため、清掃の徹底を図り、清潔な施設内の維持に努めました。
- ・設備の保守管理等のハード面は、適切な業者に業務委託を行い、安全性の向上を図っています。

イ 効率的な運営への取組について

- ・運営協議会での意見や仏向地区連合自治会などへ参加する中で、地域の方々がケアプラザに求めていること、また地域のニーズや不足している社会資源の把握に努めました。
- ・水道、電気等の節減に積極的に務め、それぞれ前年比で、約13%、約48%の使用量削減を図ることができました。

ウ 苦情受付体制について

- ・事業ごとにアンケート調査を実施するほか、「理事長への手紙」を設置するなど、施設利用者が要望やクレームを言いやすい環境を整えました。挙げられた要望に関しては早急に対応するよう心がけています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 火災や地震等の災害に備え、避難経路や消火器設置場所をわかりやすいよう館内に掲示しています
- ・ 地域の消防団の協力を得て、館内利用者を含めた避難訓練を年2回実施しています。同時に職員を対象とした AED 訓練も実施し、緊急時でも迅速な対応が行えるよう取り組んでいます。
- ・ 大規模災害発生時にスムーズな連携が図れるよう、地域の広域避難場所連絡会や避難訓練等へ積極的に参加しました。

オ 事故防止への取組について

- ・ ヒヤリハット報告書や事故報告書を業務改善のツールとして活用し、職員間での情報共有を徹底しています。
- ・ 報告書が上がった際には、部門ミーティング等において、事故原因の追究とその防止策を検討し、事故の再発に努めています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 法人としての個人情報保護方針を定めており、これをホームページに掲載すると同時に館内にも掲示しています。また、指定管理業務で個人情報の漏えいがあった場合には、行政への報告を行います。
- ・ 毎年度初めに合同研修会を実施し、その中で個人情報保護に関する周知徹底を図っています。
- ・ 居宅介護支援事業や介護予防支援事業に関しては、契約書の中にも謳われており、その厳守に努めています。
- ・ 全職員に関して、個人情報保護に関する誓約書を入職時に記入してもらい保管しています。

キ 情報公開への取組について

- ・ 当法人のホームページにて運営規定や財務状況を公開しています。実施事業ごとに施設受付前に運営規程も掲示しています。
- ・ 月1回、地域の情報や自主事業の情報、健康情報などを掲載した広報紙を発行し、各自治会や学校、施設、関係機関等へ配布しています。
- ・ 地域ケアプラザの取組みや自主事業など、リアルタイムな情報が提供できるよう、ブログの開設を行いました。
- ・ 介護保険事業に関しては、ケアマネジャー空き情報の公開や神奈川県指定情報公表センターのホームページにて介護サービス情報の公表を行っています。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・横浜市資源循環局のルート改修（ヨコハマ3R夢プラン）に対応するよう、ゴミの分別を徹底しています。
- ・「資源としてリサイクルできる物と、ゴミとして排出する物と区別をする」、「ゴミを持ち込まない」、「ゴミを増やさない」、これらのことへの意識を高め、ゴミの減量化に取り組んでいます。
- ・横浜市のヨコハマ3R夢プラン研修にも参加しています。
- ・館内の温度管理等を適切に保ち、使用しない部屋の電気や空調の電源をこまめに切る等の節電により、環境への配慮に努めています。
- ・修繕等の発注、物品及び業務の調達等に当たっては、横浜市中心企業振興基本条例の趣旨を踏まえ、市内中小企業への優先発注に努めています。

介護保険事業

◆介護予防支援事業

職員体制	
・地域包括支援センター	
保健師	1名
社会福祉士	1名
主任ケアマネジャー	1名

目標に対する取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防従事者研修等必要な研修へ積極的に参加することで職員の資質向上に努めました。 ・ケアマネジャーからの相談にはいつでも応じ、ケアマネジャーが一人で問題を抱え込まないよう、必要に応じてケアカンファレンスや地域ケア会議を開催するなど、支援体制を整えられるよう取組みました。 ・困難事例への支援については、保土ヶ谷区役所や介護保険サービス事業所、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの関係機関と連携を図り、早期解決に向けた対応を行いました。 ・ケアマネジャー事業所連絡会を年4回開催し、ケアマネジャーの勉強の機会とお互いの情報交換の場づくりを行いました。

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）
特になし

その他（特徴的な取組、PR等）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との関わりを深める目的で、自治会等への積極的な働きかけを行っています。 ・「認知症サポーター養成講座」を中心に企業や地域住民向けの認知症に関する勉強会の開催を実施しています。

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
133	133	133	144	149	155
10月	11月	12月	1月	2月	3月
158	158	161	159	163	153

◆居宅介護支援事業

職員体制	
管理者	1名
介護支援専門員	2名

目標に対する取組状況
<p>ケアマネ連絡会を中心とした研修会参加や、同法人内での定期ミーティング開催により、質の高いケアマネジメントを提供していけるよう取組みました。また、包括支援センターや地域活動・交流との共催により、地域住民向けの料理教室の場を活用し、介護保険制度の説明などを実施しました。</p>

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）
特になし

その他（特徴的な取組、PR等）
<p>社会福祉法人 清光会の6つの施設（4地域ケアプラザと2特別養護老人ホーム）と医療法人恵生会との連携により、福祉医療に充実した体制を整え、精度の高い情報提供とケアマネジメントを行えるよう取組みました。また土日の相談にも対応することができるよう所内の連携に努めています。</p>

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
40	40	40	52	55	51
10月	11月	12月	1月	2月	3月
52	56	59	58	57	63

◆通所介護事業

提供したサービス内容

- ・送迎
- ・健康チェック
- ・入浴
- ・食事
- ・レクリエーション
- ・個別機能訓練
- ・口腔機能向上
- ・相談業務

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

○ 1割負担分	
（要介護1）	704円/回
（要介護2）	831円/回
（要介護3）	963円/回
（要介護4）	1,095円/回
（要介護5）	1,227円/回
○ 食費負担	750円/回

事業実施日数、提供時間

○事業実施日数 週 7 日 ○提供時間 9 : 3 0 ~ 1 6 : 3 5

職員体制

管理者	1名	常勤兼務
生活相談員	5名	常勤兼務
看護師	5名	非常勤専従
介護員	16名	常勤兼務4名、非常勤専従12名

目標に対する取組状況

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施しています。ご利用者一人一人に合わせた自立支援に努めています。

その他（特徴的な取組、PR等）

- ・園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めています。
- ・明るく開放的なデイルームで、ご利用者お一人お一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けています。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
621	632	643	652	670	661
10月	11月	12月	1月	2月	3月
642	580	596	507	503	532

◆介護予防通所介護事業

提供したサービス内容

- ・送迎
- ・健康チェック
- ・入浴
- ・食事
- ・レクリエーション
- ・生活機能向上グループ活動
- ・身体機能向上
- ・口腔機能向上
- ・相談業務

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

- 1割負担分
（要支援1） 1,766円/月
- （要支援2） 3,621円/月
- 食費負担 750円/回

事業実施日数、提供時間

- 事業実施日数 週7日
- 提供時間 9:30～16:35

職員体制

- 管理者 1名 常勤兼務
- 生活相談員 5名 常勤兼務
- 看護師 5名 非常勤専従
- 介護員 16名 常勤兼務4名、非常勤専従12名

目標に対する取組状況

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所からの介護予防計画書に基づき、個別の介護予防通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施しています。ご利用者お一人お一人に合わせた介護予防支援に努めています。

その他（特徴的な取組、PR等）

- ・園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めています。
- ・明るく開放的なデイルームで、ご利用者お一人お一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けています。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
121	98	105	114	116	115
10月	11月	12月	1月	2月	3月
119	107	120	113	107	119

◆認知症対応型通所介護

提供したサービス内容

- ・送迎
- ・健康チェック
- ・入浴
- ・食事
- ・レクリエーション
- ・個別機能訓練
- ・口腔機能向上
- ・相談業務

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

○ 1割負担分	
（要介護1）	1,072円/回
（要介護2）	1,188円/回
（要介護3）	1,305円/回
（要介護4）	1,422円/回
（要介護5）	1,539円/回
○ 食費負担	750円/回

事業実施日数、提供時間

○事業実施日数 週 7 日 ○提供時間 9 : 3 0 ~ 1 6 : 3 5

職員体制

管理者	1名	常勤兼務
生活相談員	5名	常勤兼務
看護師	5名	非常勤専従
介護員	16名	常勤兼務4名、非常勤専従12名

目標に対する取組状況

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の認知症対応型通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施しています。ご利用者一人一人が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、支援を行っています。

その他（特徴的な取組、PR等）

落ち着いた環境において、ご利用者お一人お一人の状態に合わせたサービス提供を心掛けています。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
—	—	—	—	—	—
10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	8	11	12	7	20

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ① 毎月の連合自治会や民生委員・児童委員協議会、各地区で行われる夏祭りなどの行事に参加。
昨年度からの顔つなぎの成果もあり、その場で相談を受けることも多くなっている。
- ② 出張相談に関しては未実施。ただし、上記①のように地域に出向いた時に自然な形で相談を受けることができているため、その点も含めて次年度の検討課題としていきたい。
- ③ 一つのケースに対して担当職員が個々に対応しているのが現状。4職種が連携し、それぞれの専門性を生かした対応が行えるよう意識改善していきたい。
- ④ 包括、地域活動・交流、それぞれの事業においてアンケート調査を実施。アンケート内の要望をもとに、課題の抽出や事業内容の見直し、新たな事業展開への検討材料としています。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

毎月行われる区と包括のカンファレンス終了後に、包括と地域・活動交流合同のミーティングを開催。また、4職種のデスクをまとめることで、気軽に情報共有・意見交換が行える環境づくりにも努めています。

3 職員体制・育成

昨年度と比較すれば、職員体制は安定し、気軽にコミュニケーションが取れる落ち着いた職場環境となりつつあります。4職種が連携し、それぞれの専門性を生かした対応が行えるよう体制を整えていきたいと思えます。

- ① 毎月行われる区と包括のカンファレンス終了後に、包括と地域・活動交流合同のミーティングを開催。
- ② 今年度は所長、地域活動・交流のコーディネーターがPDCA研修を受講。学習したことを実際の事業展開にも生かしています。
4月16日に法人倫理や個人情報保護などを内容とした系列4ケアプラザ合同研修を実施。次回未定。
- ③ それぞれの部所で年2回を目標に系列4ケアプラザの合同ミーティングを開催。各区での取組みについて情報交換を行うことで、新しい発想を取り入れ、意識の向上にも繋がっています。
- ④ 参加可能な研修に関しては、部所を問わず、なるべく参加できるよう調整しています。
包括不在でも総合相談が行える体制づくりが課題。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ① 4職種と所長が持ち回りで連合自治会へ参加。「ほっとなまちづくり」の進捗状況なども含め、地域との情報共有に努めています。
- ② 地域ケアプラザで開催される地区民生委員・児童委員協議会へ随時参加し、ケアプラザからの情報提供を行っています。その際に個別ケースの相談を受けることも多くなりました。
- ③ 障がい者施設とのネットワークづくりとして「ほっとフレンズ」への参加はもちろんのこと、パン、豆腐販売を継続実施しています。今年度は、ケアプラザにおいて、ほどがやゆめあんの出張相談会を開催。地区懇談会へはたっちほどがやに参加して

頂きました。

地域交流事業の中では、作業所浜風の見学も取り入れるなど、障がい分野とのネットワーク構築も広がりつつあります。

- ④ 地域の幼稚園とのネットワーク形成として、今年度も岩崎幼稚園、立正桜ヶ丘幼稚園とデイサービス利用者との交流会を実施しました。

今年度は新たに坂本小学校4年生との交流を図りました。生徒の施設見学、デイサービスとの交流会に加え、小学校に出向き、高齢者疑似体験などの「福祉教育」を、保土ヶ谷区社会福祉協議会、仏向地区社会福祉協議会と連携して行いました。橘中学校に関してもケアプラザ単館で行っていた「福祉についての授業」を上記2団体と連携して行いました。職業体験学習については1月に受け入れ予定です。

エリア別子育て支援連絡会を通じ、子育て支援関係機関とネットワーク形成をしていきました。次年度は新たに保育園が出来る予定ですし、エリア別児童虐待防止連絡会も行われる予定ですので、更なるネットワーク構築を進めていければと思います。

- ⑤ リーフレット「みまもりSOSネットワーク」作成に伴い、一時周知活動を中断していましたが、今後はリーフレットを活用し、地域への周知活動に努めていきます。

5 区行政との協働

ほっとなまちづくり第三期計画作成に伴い、仏向地域ケアプラザにて地区懇談会を開催。支援チームリーダーを中心に、区、社会福祉協議会、地域ケアプラザが連携して、その後の素案作成までスムーズに行えたと思います。

昨年までは坂本町内会館で実施していた仏向フェスタを、今年度は仏向地域ケアプラザへ場所を移して実施する予定です。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 今年度、広報紙を大幅にリニューアルし、包括支援センターのページ、地域・子育てのページと対象ごとに見やすい紙面作りを心がけました。また、人員を募集したいという「リコフラサークル」の活動や「デイサービスと幼稚園との世代間交流」の様子を始め、地域での活動に積極的に顔を出し、「地域防災訓練」、「夏祭り」、地区社協の「ふれあいウォーク」、エリア内小学校での「福祉教育授業」など一緒に活動しながら、その様子を写真に撮らせて頂き、地域活動紹介として、広報紙に掲載しました。自分自身が体験することで地域活動の様子や現状を知る良い機会になりましたし、地域との関係も深まってきたように感じます。今後も地域の方々の活動やケアプラザの活動PRになるような紙面作り、情報発信の方法を検討していきます。また、次年度から開始される介護予防・日常生活支援総合事業に向け、より多くの地域活動情報の収集と、地域の方々への発信が行えるよう、「地域をつなぐ地域情報誌」を自治会・町内会長、民生委員・児童委員、地区社協に協力を依頼し作成を進めています。
- ② 昨年度に引き続き、公園遊びや、自治会での活動の際に、包括職員の協力を得ながら、事業の紹介を行いました。
- 今年度は、地域の集まりやすい拠点として、坂の下にある仏向町内会館で絵手紙クラブを開催しました。参加された方は、皆さんとても楽しまれ、「楽しかった。また、よろしくお願いします。」との声が聞かれました。ケアプラザは坂の上にあり、度々交通の便の悪さが地域の方から指摘されます。今後も、集まりやすい場所での事業展開は検討していかなければならない課題だと思えます。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ① 館内利用団体が活躍、活動できる場として、デイサービスでの活動発表、近隣グループホームでの折り紙教室、地域の夏祭りでの発表、自主事業のお手伝い、ほっとなまちづくりフォーラムでの福祉作品展展示などの場を提供しました。
- また、今年度も3月に開催する「仏向フェスタ」では男の料理の方々に豚汁作りをお願いしています。
- デイサービスでの発表
- ・栗の沢ストレッチクラブ
 - ・らくらく体操
 - ・雅の会
 - ・箏の会
 - ・ナッキーズ
 - ・初音SSKクラブ
- デイサービスでのレクレーション相手
- ・初心者麻雀クラブ
- 近隣グループホームでの折り紙教室の講師
- ・紙ふうせん
- 地域の夏祭りでの発表
- ・リコフラサークル
- 自主事業「男の料理発表会 仏向自慢の野菜食べようぜ」の講師、お手伝い
- ・仏向・男の料理倶楽部
- ほっとなまちづくりフォーラム福祉作品展展示
- ・紙ふうせん
 - ・絵手紙クラブ
- ② 今年度は更新の団体が多くあり、更新に四苦八苦しみました。そこで、連絡会での意見交換を元に、今年度更新の団体にご理解頂き、登録期限を3年後の4月30日に

揃えさせてもらいました。以降、更新の度に4月30日に揃えさせて頂き、毎年3月～4月に行う予定の館内利用者団体交流会と一緒に質問を受けながら、書類を記入して頂けるようシステム化をはかりました。来年度以降もやり方を統一しながら、継続的に行っていきます。

3 自主企画事業

- ① 今年度も「絵本読み聞かせとわらべうた」を保土ヶ谷区の図書館にご協力頂き実施しました。気に入った絵本を借りて帰る参加者や、出張図書館のような機能も垣間見られ、スマートフォンの動画が主流になる中、絵本独自の良さを伝えられる良い機会となっています。1月にも開催予定です。
- 「おもちゃの病院」では、昨年2月におもちゃ再生館の方々から、参加者が減ってきていると相談がありました。そこで、子育て事業と開院日を合わせて実施していた事を利用し、9月の開院に合わせ、子育て事業を3つ同時に開催するイベントを実施しました。(運動会、お母さんと歯磨き、おもちゃの病院)当日は、親子30組程のイベント参加があり、「おもちゃの病院」も大変盛況で治しきれないといった状況でした。事業の周知に繋がりました。
- 幼稚園との交流会は、今年も岩崎幼稚園、立正桜ヶ丘幼稚園と行いました。
- ② 昨年度より実施している、ほどがや語り部企画を今年度も実施しました。「旧東海道、保土ヶ谷宿巡り」「仏向の畑めぐりとみかん狩り」を今井ケアプラザと共催で語り部集作成に携わった方々を中心に地域の方と一緒に、実施計画を立てました。
- 「旧東海道、保土ヶ谷宿巡り」では、最終目的地を宿場そば屋に設定し、保土ヶ谷の歴史、仏向の名前の由来などを語って頂き、保土ヶ谷の魅力、また、仏向地域の魅力を発見できました。「仏向の畑めぐりとみかん狩り」は、雨天により今年は実施できませんでした。企画の中では、前回のルートとは違い、作業所見学を取り入れ準備していましたが、地域とつながりたいと思っている作業所と地域住民をつなぐ絶好の機会でしたが、大変残念に思っています。また来年度も計画出来ればと思っています。
- また、企画会議を通して、新たな区域の情報も得られ、今年度はもう1つ、2月に洋館付き住宅や教会を見学するウォーキングツアーを開催予定です。エリアの魅力発見、つながりが進み、区域へのつながり構築に広がりを見せてきています。
- 11月から新規事業として「仏向バンドプロジェクト」を開催。
- この事業は、音楽が好きな地区民生委員と一緒に企画。好きな楽器が実は地域活性化にも繋がるといった視点と退職直後や働き盛りの男性、子育て中の方など少し若い世代にケアプラザの事を知ってもらおうきっかけとして、また、子供も参加OKにした事で多世代交流にも期待しています。
- 事業の企画に関しては、今後も地域の方の意見を反映しながら、地域の方と一緒に事業を考え実施していければと思っています。
- ③ 新規事業に関しては、初めてケアプラザに来館された方も多く、ケアプラザの役割を説明する時間を設けました。コーディネーターがケアプラザの4つの機能を説明し、ケアプラザは高齢者だけの施設ではないという事を強調、地域住民誰もが利用できる施設といった周知につなげました。その結果、新たに子育てサークルが立ち上がったほか、貸室についての問い合わせも増えました。
- また、昨年同様、「薬膳料理」の際には、持っているだけでは使えない介護保険の説明を講師である仏向地域ケアプラザのケアマネジャーから説明を行いました。私達が当たり前と感じていることも地域の方には初めて聞く話であることも多々あります。これからも自分たちの持っている情報を地域に発信し安心して暮らせる街づくりを目指していればと考えています。
- 事業実施の際、アンケートを取り、振り返れるようにしました。アンケートを取ることで、普段は聞けない意見なども聞き取ることができました。アンケート結果では、子育て事業の充実の声が多く聞かれました。仏向エリアは子育て中の方が非常に多いのが特徴です。エリア内には、マンションの建設も進んでいますので、来年

度はより充実した子育て支援を区や子育て支援拠点などと連携しながら、取り組んでいければと考えています。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ① サマーボランティアの活動場所として、今年度は仏向地区社会福祉協議会の「おしゃべりサロン」に加え、地域推進会議で顔つなぎのできたグループホームでの活動もプログラムに取り入れました。また、認知症サポーター養成講座を説明会と同時に開催し、実際にサポーター体験できるよう、仏向地域ケアプラザに来館される認知症の方の見守り・お手伝いボランティアという内容も取り入れました。学生達に様々な施設の特色や認知症についての理解普及をしてもらえる良い機会となりました。
- ② 近隣グループホームの地域推進会議に参加し、レクレーションの時間の悩みを聞くことができました。館内利用団体の「紙ふうせん」の方々にお願いし、折り紙レクを2か月に1回ですが、実施して頂けるようにつなげる事が出来ました。自治会や地域で活動している団体に関しては、ボランティアが必要だという声を直接聞く事はありませんでしたが、色々な地域活動に参加し、実際に中に入ってお手伝いをする中で、色々な話を聞く事ができ、実情を把握することは少しずつ出来てきました。今後も出来る限り地域の事業に顔を出し、地域がケアプラザに言えない部分もくみ取りながら、必要な支援を行っていければと思います。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

介護保険制度の知識のない方にもわかりやすい制度に関する資料を作成し、各自治会や地区社会福祉協議会等への出前講座を行いました。

- ① 計画通り 8/12 にコンフォール仏向（24 名）、9/15 に栗の沢（59 名）で行いました。また、区社会福祉協議会と連携し、11/7（橘中学校）、11/18、11/24（共に坂本小学校）で高齢者疑似体験授業を行いました。これを通して、高齢者を支える地域環境の構築にも取り組みました。
- ② 左記具体的な計画の通り、上記各地での講座・疑似体験授業開催を通して、ケアプラザ・地域包括支援センターの存在と役割の周知に努めました。また、坂本小学校の生徒たちに対してはケアプラザに来所して頂き、実際にどういった施設で、どういった人たちが利用しているかを学んで頂きました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ① リーフレット「みまもり SOS ネットワーク」作成に伴い、一時周知活動を中断していましたが、今後はリーフレットを活用し、関係団体や地域への周知活動に努めていきます。
今年度は当ケアプラザ近隣の運送会社での説明会開催に向けて検討をしています。また、地区社会福祉協議会や民生委員、児童委員等に対しても同様の講座を行い、新しい仕組みの周知に取り組んでいく予定です。
- ② 10 月 29 日民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会とケアマネジャーとの懇談会を開催。今年度は仏向地区各自治会会長や、宅配事業者への参加を依頼し、関係機関の活動状況を把握。地域資源のネットワーク拡大、構築の場になりました。
エリア内有料老人ホームで、認知症予防、介護保険についての説明会を開催。ケアプラザの役割や事業の紹介を行い、施設関係者、入居者様へ地域ケアシステムやネットワークについての周知、連携が出来ました。

実態把握

- ① 地区別計画の策定に向け、地区懇談会を実施しました。地域の色々な機関、団体からの参加があり、地域ニーズの把握、顔の見える関係ができ、計画策定もスムーズに進められました。次年度以降は、ケアプラザが主体となり、地区懇談会を継続的に計画していければと考えています。
- ② 連合町内会へは所長、コーディネーターを含め、毎月持ち回りで参加。当ケアプラザが行う事業紹介や地域の話題についての情報交換、ほっとなまちづくりの進捗状況報告などを行っています。
- ③ 毎月行われる区と包括のカンファレンス終了後に、包括と地域・活動交流合同のミーティングを開催。また、4 職種のデスクをまとめることで、気軽に情報共有・意見交換が行える環境づくりにも努めています。
民生委員との懇談会ではアンケートで課題や希望を抽出し、地域のニーズを理解し、地域と連携を取り開催が出来るよう、職員間でも共有を行いました。

2 権利擁護

権利擁護

区社会福祉協議会と共に権利擁護講座を10/16(参加2名)、消費生活総合センターと共に消費者被害講座を12/7(参加11名)に行いました。また、11/11にはコンフォール仏向にて、権利擁護の出前講座(参加23名)を行いました。これらの取組のアンケートの結果から、参加者には、自身のためだけでなく、家族や友人への周知をしていきたい、という考えを持って頂くことが出来ました。

また、区役所生活支援課と連携し、地区社会福祉協議会へ12/2に生活保護の講座(参加26名)を行いました。これを通して、地域への見守りの力を底上げしました。

【消費者被害】

詐欺の実例や被害件数の多さを直接的に講義するのではなく、DVDやビンゴ形式を採用することにより、実生活と知識欲を刺激することで、理解度の向上に取り組みました。

また、マイナンバー制度に関連する最新の詐欺被害についての情報も盛り込み、常に新しい手法が生まれていることの周知にも取り組みました。

仏向町が区内で最も詐欺の被害が多かった背景もあるため、ケアプラザ便り等の面へのアプローチ方法も導入し、様々な角度からの支援・取組を今後も継続して行きます。

【成年後見制度】

成年後見制度だけではなく、区社会福祉協議会が行っている日常生活自立支援事業(あんしんセンター)についても内容に盛り込みました。このことを通して、状態に応じて段階的な制度が整備されていることを伝えました。

一方、10/16に行った講座は参加者が少なかったため、個別相談の時間を設け、直近で必要性を感じている参加者のニーズに応じた講座とすることが出来ました。

また、ケアマネジャーから連絡を受けた成年後見制度導入が必要な方については、その日のうちに区役所の担当ケースワーカーへ連絡をし、連携して継続した支援を行っています。

【生活保護】

地区社会福祉協議会が地域で見守りをしていく中で、生活保護世帯へのアプローチに難しさを感じることもあるとの訴えがあり、生活支援課と連携して講座を行った。

これによって、生活保護受給に伴う負い目を持つ住民の地域参加をどのようにして行っていくか、という点の方向性を共有することが出来ました。

高齢者虐待

区内地域包括支援センターの社会福祉士、主任ケアマネジャーが連携し、地域の居宅介護支援専門員に対しての虐待発見のための視点を学ぶ研修を行いました。

地域の事業所に所属するケアマネジャーからの依頼があったケースでは、区役所高齢障害支援課やケアマネジャー、サービス事業等と連携して継続的な支援に当たっています。

上記ケースへの対応に関して、ミーティングの場で包括職員への共有を行いました。

認知症

区役所、各地域包括支援センターと協働して、SOS ネットワークリーフレットを作成して仕組み作りに取り組みました。

また、認知症カフェの開催を定期的に行い、個別ケースとしての認知症予防にも取り組みました。

【SOS ネットワーク】

完成した上記リーフレットを用い、当ケアプラザ近隣の運送会社での説明会を 2/9 に行いました。

来年度に向けては、町内会や自治体、地区社会福祉協議会や民生委員、児童委員等に対しても同様の講座を行い、新しい仕組みの周知に取り組んでいく予定です。

【認知症】

認知症カフェの開催を通して、地域住民の認知症への理解促進と予防に取り組みました。このカフェを通して、地域交流と連携し、ケアプラザでの他事業への参加を促した結果、ひきこもりを防止でき、認知症の予防につながる成功ケースを生み出すことが出来ました。

また、認知症・独居の方を対象にした個別地域ケア会議を 9/17 に開催しました。

そして、会議で話し合った内容をその場だけで終わらせないように、「地域での見守り」の視点を A4 一枚にまとめたシートを配布しました。これによって、地域全体の認知症見守り力の底上げに取り組んでいます。

来年度は、地域のキャラバンメイトとの連携を強化し、協働してサポーター養成講座や認知症カフェなどの認知症（予防）対策に取り組んで行く予定です。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

本年度も引き続き、7月～9月にかけて、地域活動グループに参加時、及び地域ケアプラザに来館したグループ活動団体に対して基本チェックリストを実施しました。

チェックリスト該当者には個別支援及び、地域活動グループに対し、講習会開催のお知らせを掲示板並びに回覧板で周知して頂けるよう民生委員に依頼しました。また、開催日直前に該当者に参加のお誘いの連絡を個々にさせていただき、多くの参加に結び付けたと思います。

介護予防ケアマネジメント力

総合事業への移行を視野に入れ、地域ケアプラザで行われている事業の紹介、地域の各町内会館で開催されている行事、サークル活動をケアマネジャーへ向けて紹介。地域交流が現在作成中の「地域をつなぐ地域情報誌」の紹介をし、介護保険をお持ちの方でも参加出来る事業や地域の参加出来る場の把握が出来る機会になりました。来年1月からスタートの介護予防ケアマネジメント、チェックリストで対象者へ該当した方のプランの立て方等を確認し合います。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

10月29日

民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会とケアマネジャーとの懇談会を開催。今年度は仏向地区各自治会会長や、宅配事業者への参加を依頼し、関係機関の活動状況を把握。地域資源のネットワーク拡大、構築の場になりました。広がったネットワークの連携が円滑に取れるように懇談会を通じて参加者が望む形が引き出せるような話し合いが行えるようにしていきたいと思えます。

医療・介護の連携推進支援

7月1日

エリア内在宅医とケアマネジャーの懇談会を半年に一度開催。半年間で係わったケースをケアマネジャーが発表。在宅医から個別ケースへの助言やケアマネジャーが日頃出来ない細かな報告をする場になり、医療連携についてのタイミングや繋げる方法など話し合いが出来き、継続的に懇談会を行う事でより深い関係づくりが出来きました。今後も定期的な開催を行いたいと思えます。

11月27日

「精神疾患の理解と支援のコツを学ぶ」横浜市総合保険医療センター訪問看護管理者の講義をケアマネジャー、訪問介護事業所に対して開催、精神疾患を学び、理解だけでは無く、連携の取り方や保土ヶ谷区内に精神保健師がいる訪問看護ステーションが新規開設された事等を周知する場になりました。今後も認知症などの勉強会を医療関係者と行い、連携が取れるように研修を開催して行きたいと思えます。

合同ケアマネ連絡会

H28年2月18日 多職種連携開催

ケアマネジャー支援

包括合同研修では主に多職種連携や他機関との関係作りを図りながら研修。

エリアケアマネ連絡会では、事例検討会、スピリチュアルケアなどケアマネジャーの向上やケアマネジャーへの心のケアを行いました、今後も継続的開催をしていきます。

① について

5/15、7/17、10/16、2/19

エリアケアマネ連絡会では個別の事例検討会を四半期に1度講師により行い視点の違いやスキルアップを学びながら、個別相談が図れるよう事例検討会を開催。

10月30日

個別地域ケア会議開催

9月30日

看取りケース、対象者、家族、ケアマネジャーへの「心のケア」を目的としたスピリチュアル研修を開催。

② について

9月29日一般行政サービスについて

10月23日施設見学

12月15日反町福祉機器センター見学、在宅リハビリについて研修。

個別では退院後アセスメントに立ち会いに同行し、医療連携の取り方を学び、エリアケアマネ連絡会ではスーパービジョンの手法を使う事例検討会に参加し、初回面接

からどのような聞き取りが重要か参加ケアマネジャーからの意見やスーパーバイザーの意見を通じ、アセスメント力向上研修になりました。

③ について

6月17日「医療依存度の高いケースの事例検討会」保土ヶ谷区内訪問看護ステーション参加

訪問看護師による難病についての説明後、難病に係わったケースをケアマネジャーより事例発表。

医療、介護からお互いが気づいた事、出来る事を話し合いが出来ました。

9月16日「高齢者虐待を考える」

保土ヶ谷区包括社会福祉士と主任ケアマネジャー合同。

虐待の見極めのポイント・事例を学び、区、地域包括支援センターなど関係機関との連携強化の方法を学ぶ研修を開催しました。

④ について

エリア内社会資源について見直し、ケアプラザで行われている事業も記載した地域をつなぐ地域情報誌を紹介し閲覧しました。今後ケアマネジャー、地域に配布予定。

⑤ について

「リハビリテーションとの連携について」「ケアマネジャーの薬への関わり方」「通所介護とケアマネジャーとの連携」研修を介護保険改正に伴う加算、報酬について等情報収集する場として、協力し開催。今後もケアマネ支援を合同で検討しスキルアップと多職種連携の場にしていきます。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

① 連合町内会や民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会との顔つなぎは継続実施しています。

5/31に仏向ほとなまちづくり地区懇談会を開催しました。地域の関係団体の他、障がい児者施設職員や小中学校の先生、往診医など多様な参加者により話し合いが行われました。地域福祉保健計画が出来上がって終わりではなく、地区懇談会については継続実施していく予定です。

② 認知症・独居の方を対象にした個別地域ケア会議を9/17に開催しました。そして、会議で話し合った内容をその場だけで終わらせないように、「地域での見守り」の視点をA4一枚にまとめたシートを配布しました。

10/30にも独居の方が骨折をきっかけに外出が困難になり、坂の多い地域の課題を地域力が重要なことを参加者、地域の方々と確認し合えた地域ケア会議を開催しています。

介護予防事業

介護予防事業

地域活動グループには、本年度2か所（高齢者の独居が多いコンフォール仏向集会所と睦ヶ丘自治会館にて口腔機能向上のための講座（栄養士及び歯科衛生士による）を開催しました。

【参加者】

コンフォール仏向 23名

睦ヶ丘自治会館 25名

参加者の反応は、日常生活の見直しができ、今後の改善へと結びつく知識の普及につながりました。

(計画の振り返り)

- ① 4月から、毎月1回3B体操(健康体操)を実施してきました。
12月をもって終了の方向に決定します。
- ② 各自治会に対して、コグニサイズを導入できました。体育指導員を派遣している地域には、コグニサイズを時間内に取り入れて頂き、包括が介護予防指導をしている地域には一緒に取り組んでいます。
- ③ 合同ノルディックウォーキングを10月に実施。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 仏向地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	18,911	23,647	149					
	介護保険収入				8,662	7,149	76,640	7,432	842
	その他				202	406	7,246		
	利用者等外給食費 収益				202	83	896		
	国庫補助金等特別積立 金取崩額					323	6,142		
	雑収益						91		
	自動販売機販売手数料						42		
	補助金事業収益						75		
収入合計(A)	18,911	23,647	149	8,864	7,555	83,886	7,432	842	
支出	人件費	10,890	17,939			7,590	52,829		449
	事務費	2,120	1,791			800	6,050		54
	事業費	363	140	149		152	5,119		38
	管理費	2,602	692			442	5,923		47
	その他	550	1,291		5,448	521	9,180		
	協力医謝金		42						
	修繕費	427	113						
	運営協議会経費	10							
	建築物・建築設備点検	43	11						
	利用者等外給食費				219	89	972		
	減価償却費					432	8,208		
	予防委託費				5,229				
	体制強化に伴う物品購入		82						
指定管理料戻入額	70	1,043							
支出合計(B)	16,525	21,853	149	5,448	9,505	79,101	0	588	
収支 (A) - (B)	2,386	1,794	0	3,416	-1,950	4,785	7,432	254	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載してください。

※精算書をベースに作成してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額				
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
お部屋の開放	未就園児とその親	0	0	0	0	0
	501					
	0					
どんぐりリング	未就園児とその親	60,646	0	4,800	36,751	23,895
	451					
	12月のみ200円					
大きなお絵かきをしよう	小学生以下	0	0	0	0	0
	116					
	0					
みんなで人形劇をみよう	子供	33,411	0	0	33,411	0
	153					
	0					
親子でリズム遊び	未就園児の親子	27,840	0	0	27,840	0
	220					
	0					
自主製品販売場所の提供・調整	地域	0	0	0	0	0
	1561					
	0					
絵手紙クラブ	地域	13,500	0	4,400	0	13,500
	55					
	100					
囲碁・将棋クラブ	地域	0	0	0	0	0
	764					
	0					
岩崎幼稚園との交流会	子供	138	0	0	0	138
	100					
	0					
仏向ミュージックカフェ	高齢者	48,443	0	0	36,751	11,692
	205					
	0					
ビニールプールで水遊び	乳幼児	0	0	0	0	0
	113					
	0					
サマーボランティア	子供	0	0	0	0	0
	51					
	0					
館内利用団体交流会	地域	0	0	0	0	0
	29					
	0					
ボランティア交流会	地域	17,284	0	0	0	17,284
	12					
	0					

平成27年度 自主事業収支報告書

ぶっこう茶屋	地域	12,215	0	0	0	12,215	0
	109						
	0						
おもちゃの病院	地域	0	0	0	0	0	0
	47						
	0						
絵本の読み聞かせとわらべうた	乳幼児	0	0	0	0	0	0
	43						
	0						
わんあっぷ教室	子育てに不安のある親と乳幼児	116,370	0	0	111,370	0	5,000
	150						
	0						
薬膳料理	地域	8,459	0	4,000	0	8,459	0
	8						
	500						
親子でケーキを作ろう	小学生と親	34,386	0	7,000	6,681	27,705	0
	35						
	500						
手作りパンでランチ会	地域	30,357	0	23,200	26,727	3,630	0
	34						
	800						
語りべと歩くまち「旧東海道、保土ヶ谷宿巡り」	地域	3,207	0	0	2,227	0	980
	18						
	0						
ホームカーリング	高齢者	12,000	0	5,400	0	12,000	0
	18						
	300						
健康体操	高齢者	50,112	0	26,700	50,112	0	0
	84						
	300						
じゃがいもカフェ	高齢者	26,558	0	0	18,640	6,418	1,500
	48						
	0						
よくばりダンスどんだけ～♪	子育て中のママ	27,840	0	8,200	27,840	0	0
	82						
	200						
おかあさんと歯磨き	未就園児とその親	5,568	0	0	5,568	0	0
	50						
	0						
サマーボランティア認知症サポーター養成講座	中・高校生	0	0	0	0	0	0
	5						
	0						
仏向バンドプロジェクト	地域	18,325	0	0	16,705	1,620	0
	46						
	0						
将来の備え～はじめての「権利擁護」講座	地域	0	0	0	0	0	0
	23						
	0						

平成27年度 自主事業収支報告書

感染予防のための手洗い講座	地域						
	40	11,136	0	0	11,136	0	0
	0						
ほっとフレンズ2015夏「夏祭り」	障がい児						
	30	0	0	0	0	0	0
	1000						
介護保険説明会	地域						
	83	0	0	0	0	0	0
	0						
ほどがや区民まつり地域活動交流ブース	地域						
	350	390	0	0	0	390	0
	0						
本の貸し出し事業	地域						
	64	0	0	0	0	0	0
	0						
男の料理発表会「仏向自慢の野菜食べようぜ」	地域						
	20	10,891	0	3,300	3,341	7,550	0
	300						
生活保護についての説明会	地域						
	26	0	0	0	0	0	0
	0						
詐欺に負けるな！消費者サギ対策講座	地域						
	12	0	0	0	0	0	0
	0						
区内包括支援センター合同事業 ノルデックウォーキング	高齢者						
	108	0	0	0	0	0	0
	200						
社交ダンス	高齢者						
	43	5,000	0	4,300	0	0	5,000
	100						
認知症予防講座	高齢者						
	13	13,364	0	0	13,364	0	0
	0						
保土ヶ谷の歴史的建造物公開ウォーキングツアー	地域						
	29	980	0	0	0	0	980
	0						
【生涯学習】 ボールペン字講座	高齢者						
	6	3,341	0	0	3,341	0	0
	0						
【生涯学習】 座ったままできるフラダンス	高齢者						
	5	0	0	0	0	0	0
	0						
親子でフラダンス！～みんな でwa(和)になりおどろう～	障がい児						
	18	0	0	0	0	0	0
	200						

平成27年度 自主事業収支報告書

ほっとフレンズ2016春 ボランティア研修・説明会	障がい児							
	71	0	0	0	0	0	0	
	500							
こんなに簡単！ 味噌づくり	地域							
	21	15,306	0	8,500	0	15,306	0	
	500							
仏向フェスタ	地域							
	300	35,502	0	11,350	0	35,502	0	
	出店に伴う売上あり							
出張・折り紙教室	地域							
	47	0	0	0	0	0	0	
	0							
ひよこクラブ夏祭り	地域							
	20	0	0	0	0	0	0	
	0							
館内利用団体 認知症サポーター養成講座	地域							
	29	0	0	0	0	0	0	
	0							
認知症サポーター養成講座	事業所							
	4	0	0	0	0	0	0	
	0							
坂本小4-1組との交流会	小学生							
	140	0	0	0	0	0	0	
	0							
坂本小4-3組との交流会	小学生							
	140	0	0	0	0	0	0	
	0							
坂本小学校福祉教育(高齢 者疑似体験)	小学生							
	90	0	0	0	0	0	0	
	0							
仏向小学校福祉教育(高齢 者疑似体験)	小学生							
	40	0	0	0	0	0	0	
	0							
ケアマネ連絡会	事業所・地域							
	185	37,111	0	0	21,159	15,252	700	
	0							
事例検討会	事業所							
	52	26,448	0	0	20,046	6,402	0	
	0							
いつまでもおいしくたべられる ために	高齢者							
	25	30,035	0	0	22,274	7,761	0	
	0							
きちんと食べられていますか	高齢者							
	25	11,137	0	0	11,137	0	0	
	0							
出張・絵手紙クラブ	地域							
	39	0	0	0	0	0	0	
	0							

平成27年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お部屋の開放	<p>●【目的】子育て中の親子の居場所をつくることで、子ども同士または親同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】出入り自由、プログラム無しの気軽に立ち寄れる親子の居場所として開放。</p> <p>●子育て講座の終了後や育児相談のあと実施。</p>	<p>●第1・3火曜日、木曜日（第2は除く）を主に、単発での子育て事業終了後（不定期） 計64回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どんぐりリング	<p>●【目的】子育て中の親子を対象に、コミュニケーション作りの支援と、親または子ども同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】保土ヶ谷区で活動してる保育ボランティア「かるがもキッズ」のスタッフを講師に手遊びや体操など親子遊びを中心に毎月季節の行事や工作などとりいれたプログラムを実施。</p>	<p>●毎月第3火曜日 計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大きなお絵かきをしよう	<p>●【目的】地域の子ども達を対象に、普段できない大きな窓ガラスに自由な発想で「落書き」を楽しんで頂くと共に、遊ぶ場の少ない地域で子ども達の居場所として実施。</p> <p>【内容】エントランスにあるガラスで落書きを楽しむ。</p>	<p>●第1・3火曜日、木曜日（第2は除く）を主に、単発での子育て事業終了後（不定期） 計38回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなでお絵かきをみよう	<p>●【目的】子育て中の親子のコミュニケーションづくりの支援と、普段見る事の少ない人形劇を鑑賞しながら、親子の交流を図ることを目的に実施</p> <p>【内容】エプロンシアターやわらべうた、人形劇と毎回3～4つの演目</p>	<p>●7月・12月・3月 計3回</p>

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子でリズム遊び	<p>●【目的】未就園児とその親を対象に、リズム遊びをとおして、親子のスキンシップを図ると共に参加者同士の交流を促します。また、子ども中心の生活になっている親のリフレッシュの場として実施</p> <p>【内容】①1歳半～未就園児の親子対象②0歳～1歳半の親子対象と年齢別に時間をわけ、それぞれ、音楽に合わせて体を動かしたり、手作りの楽器でリズムをとったりスキンシップを図るなど</p>	<p>●6月・10月・1月・2月・3月、計5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主製品販売場所の提供・調整	<p>●【目的】区内にある障害者施設の自主製品販売の支援と共に、商業施設の少ない当ケアプラザエリアで地域の方々のためにパンや豆腐を購入できる場所を提供することを目的に実施</p> <p>【内容】いわまワークス、ダンボの会、とうふ工房 夢21の製品販売</p>	<p>●毎月木曜日の他月2回不定期に実施 計80回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙クラブ	<p>●【目的】絵手紙に興味のある方またはこれから始めてみたい方を対象に、同じ趣味をもつ方々の仲間づくりと交流を目的に実施</p> <p>【内容】地域にお住まいの方を講師にお招きし、季節の花や野菜をモチーフに絵手紙の作成</p>	<p>●毎月第2火曜日（1月と8月は除く） 計9回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁・将棋クラブ	<p>●【目的】地域の方々を対象に、囲碁・将棋を通して、仲間づくりや交流を図ることを目的に実施</p> <p>【内容】囲碁または将棋の対戦をする</p>	<p>●毎週火曜日（第4のみ月曜日） 計47回</p>

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
岩崎幼稚園との交流会	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】園児とデイサービスのご利用者様との交流を目的に実施 【内容】うちわの制作と歌 ●今年度は、園児の散歩コースにケアプラザをいれ、交流する回数を増やせるよう検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向ミュージックカフェ	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】地域住民へ多人数で歌を歌う機会の提供と交流の場として定期的な開催を続ける 【内容】地域にお住いのピアノの先生の生伴奏で、歌謡曲、童謡、唱歌など様々なジャンルの歌を歌います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月第3土曜日 (8月は除く) 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビニールプールで水遊び	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】未就園児の親子を対象に、水遊びをとおして親子のふれあいを深めると共に、参加者同士のコミュニケーションを図ります。また、サマーボランティアの活動プログラムを取り入れることで、普段関わることのない中学生～高校生と子育て中の親子の交流を図りました。 【内容】水遊び ●仏向地区社会福祉協議会と共催で2回実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> ●7月～8月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】中学生と高校生を対象に、ボランティアの意義を伝えることで、子育て中の親子または高齢者とのふれあいなど世代間交流をとおして、地域や福祉について学んで頂くことを目的とする。 【内容】活動前に説明会を実施。「ボランティアとは」「活動の説明」「日程調整」などおこない7～8月に活動にはいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●7月～8月 個人の希望する日程・時間で活動。 計14回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
館内利用団体交流会	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】 仏向地域ケアプラザの館内利用団体を対象に情報交換と交流を目的に実施 【内容】 1. 館内利用についての確認と説明 2. 団体紹介と情報交換 3. 認知症サポーター養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●4月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】 仏向地域ケアプラザに登録し活動している方を対象に交流を図る 【内容】 食事会やレクリエーションをとおして、ボランティアさん同士の交流を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●4月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぶっこう茶屋	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】 おとなのための居場所づくり 【内容】 お茶を飲みながら自由に集える場として開催。プログラム無し ●地域包括支援センターと地域活動交流共催 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月第4土曜日 午後実施 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの病院	<ul style="list-style-type: none"> ●【目的】 物を大切にすることを育む 【内容】 保土ヶ谷区の生涯学級「おもちゃ再生館」の卒業生、おもちゃドクターが地域の方々の壊れたおもちゃを可能な限り修理します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●5月・9月・11月・2月 計4回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絵本の読み聞かせとわらべうた	<p>●【目的】子育て中の親子を対象に、絵本の読み聞かせを通して、親子の交流と本の面白さを伝える</p> <p>【内容】保土ヶ谷図書館の司書を読み手に迎え、絵本の紹介と読み聞かせ、わらべうたなど実施する</p>	●7月・1月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんあっぷ教室	<p>●【目的】近隣の子育て中の親子、特に子育てが大変と感じている親子を対象にミュージックケアを行い、五感を刺激する事で子どもの発達を促す。また、子どもへの正しい関わり方を親に理解してもらう事で、その後の生活においても子育てに対する悩みを少しでも軽減する事を目的とする。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自由時間 2. ミュージック・ケア 3. 育児相談 	●毎月1回 (8月、1月を除く) 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
薬膳料理	<p>●【目的】健康な体を維持するには、運動と休養、そしてバランスの良い食事をとることが大切です。そこで食事の面から薬膳料理で健康維持を図ります。また、講師を当ケアプラザのケアマネージャーとすることで、介護保険についての説明や地域で安心して暮らすためのヒントをお伝えしていく。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプラザの説明 2. 介護保険の説明 3. 調理実習 4. 食事会 	●5月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でケーキを作ろう	<p>●【目的】地域の親子を中心にケーキ作りを通して、参加者親子の交流を深めるきっかけとして実施。同時に調理のマナーを学ぶ。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親子でケーキ作り 2. 作ったケーキを試食し交流を図る 	●6月・12月・2月 計3回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手作りパンでランチ会	<p>●【目的】 地域で現役活躍中の40代～60代の方たちに福祉保健活動・福祉保健支援活動に興味を持ってもらえるように実施。3回の実施を経て自主化を目指す。</p> <p>【内容】 1. ケアプラザの説明 2. パン・軽食調理 3. ランチ会 3. 自主化の説明</p>	●7月、8月、9月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
語りべと歩くまち「旧東海道、保土ヶ谷宿巡り」	<p>●【目的】 「ほどがや語りべ集」の編集に関わった方々と一緒に、企画から運営をおこないます。語りべ集に載っているポイントを中心に、ウォーキングをしながらまちの魅力を再発見するとともに、地域の方々との交流を図ります。</p> <p>【内容】 4月21日 企画会議 6月12日 「旧東海道・保土ヶ谷宿巡り」実施 2月 オープンヘリテージ</p>	●6月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホームカーリング	<p>【目的】 室内で、誰もが参加し楽しめるスポーツを通して、社会参加と体力の維持向上を図ります。</p> <p>【内容】 ホームカーリング体験 自主化へ向けての検討</p>	●4月、5月、6月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康体操	<p>【目的】 介護予防の目的で習慣になる下半身の筋力強化運動提案。集まった人たち同士の交流を図り、新しい関係作りをする。</p> <p>【内容】 講師を招き、健康体操を通じて筋力強化を図る。また、脳トレーニングや栄養講座なども組み込み、介護予防の総合的な勉強を行う。</p>	●毎月第4金曜日4月～12月 計9回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
じゃがいもカフェ	<p>【目的】 地域で暮らす方の閉じこもり・認知症予防を目的に地域資源や地域で活躍している講師との交流を通じて気持ちが外や地域へ向く事を目的にする。</p> <p>【内容】 地域の畑へ出かけ栽培方法を聞き、収穫し試食。地域で活躍の先生と一緒に簡単な懐かしいおやつを作りながら交流を持つ。</p>	●隔月計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よくばりダンス どんだけ～♪	<p>【目的】 昨年度まで実施していた親子でヒップホップダンスをリニューアルし、子育て中のママを対象に、ダンスを通しての親同士のふれあいや交流を図ります。</p> <p>【内容】 音楽に合わせて、みんなでダンスを踊る。子供の保育側にや地域のボランティアに入ってもらうことで、先輩ママとの交流も出来るよう活動していく。</p>	●9月～3月毎月第1 火曜日（11月・1月 休み）計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おかあさんと歯 磨き	<p>【目的】 子育て中の乳幼児の歯磨きは母親のストレス要因の一つです。歯科衛生士の集団講習で、自分だけが悩んでいるわけではないといった思いや子供との上手な接し方を学習し、今後の生活におけるストレス軽減を図ります。</p> <p>【内容】 プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・あいさつ 2・全体説明（歯磨きの仕方、食品の糖分量など） 3・グループ講習・実演 4・質疑応答 5・片づけ 	●9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーボラン ティア認知症サ ポーター養成講 座	<p>【目的】 仏向地域ケアプラザでサマーボランティアとして活動して頂く中学生～高校生を対象に認知症サポーター養成講座を実施</p> <p>【内容】 プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症について 2. 認知症への理解 3. 認知症の方への対応 4. 質疑応答 	●7月 計1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
仏向バンドプロジェクト	<p>【目的】昔、音楽活動をしていた地域に眠る音楽家、または今音楽活動をしている若い方たちで一つのバンドの結成を目指します。</p> <p>行く末はケアプラザ祭りやデイサービス、地域の方々に披露し、地域貢献活動のきっかけ作りを目的に開催します。</p> <p>【内容】ケアプラザの周知、またお互いの交流を音楽というツールを通して行い、この先の生活での目線を地域活動に向けて頂く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプラザより事業の趣旨説明 2. 自己紹介・楽器紹介 3. 曲選定 4. 個人練習・合同練習 5. 全体演奏 	<p>●11月～3月毎月第3土曜日 計5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
将来の備え～はじめての「権利擁護」講座	<p>【目的】法定後見、任意後見、日常生活自立支援事業について、区社会福祉協議会と連携し、地域住民にわかりやすく解説する。これを通して、権利擁護の考え方と重要性、早目の準備の大切さなどを周知していく。</p> <p>【内容】法定後見および、任意後見については地域包括支援センター職員が説明し、日常生活自立支援事業については区社会福祉協議会のあんしんセンターが説明を行った。</p> <p>成年後見制度の説明にあたっては、パワーポイントで資料を作成し、複雑になりがちな制度をわかりやすく解説できるよう心掛けた。</p> <p>その上で、講義終了後30分程度で個別に相談を受け付け、特に喫緊にこの制度の利用を検討しなければならない環境におかれている方たちへの具体的な支援も併せて行った。</p>	<p>●10月、11月 計2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
感染予防のための手洗い講座	<p>【目的】インフルエンザや風邪は万病の元であり、そこから要介護状態となる恐れもある。</p> <p>その予防のために、日常において最も機会が多い手洗いの方法について、専門の認定を受けた看護師からの講義と実演を通して、その大切さを知ってもらう。</p> <p>【内容】地域住民の方が対象のため、理論・理屈といった話はせずに、専門職による実演を行い、「どの部分に注意し」、「どういう風に洗うのか」という二点を歌を交えて解説してもらった。</p> <p>その上で、試薬とブラックライトを用い、参加者に実際に手洗いをしてもらい、どの部分を洗い残すクセがあるかを実感してもらった。</p> <p>これらを通して、普段の手洗いの積み重ねが体調・状態の悪化を防ぐことを実感してもらうことが出来た。</p>	<p>●11月 計2回</p>

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2015夏 「夏祭り」	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】区内障がい児者関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会で余暇プログラムを企画。実行委員会のメンバーが分担され、総務、会計、プログラム、ボランティアと4つのグループに分かれ当日まで役割を担い実施した。企画内容は、室内プログラムの「夏祭り&イベント体験」を実施し、参加者とボランティアがペアになり、夏祭りとダンス演技、和太鼓演奏の鑑賞を楽しんだ。経費については、仏向地域ケアプラザが取りまとめを行い、総額85114円でした。</p> <p>そのうち、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業の補助金(92000円)及び参加費(@1000円×14人)を差し引き、残った20886円は区へ戻入しました。</p>	●8月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護保険説明会	<p>【目的】ニュースや新聞ではよく聞くけど、実際は知っているようで知らない介護保険。介護保険の保険料や使い方を説明し、制度自体の理解を深めて頂きます。</p> <p>【内容】包括支援センター職員が自治会、町内会、老人会など指定の場所に伺い、介護保険の使い方、お金にまつわる話など分かりやすく説明します。</p>	●9月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほ도가や区民まつり地域活動交流ブース	<p>【目的】区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行った。来場者に声をかけ、前回の内容を更に工夫し、自分のエリアのマップにお薦めの場所だけでなく、危険な場所なども記入してもらった。吹き出しの付箋を使用する事で地図上わかりやすくなるようにし、又区全体のマップを前方目立つように置いて来場者の興味がわくようにした。各ケアプラザの職員が自分のエリアのものを作成し、当日もマップのそばで案内することで、来場者と該当エリアにあるケアプラザの職員が直接コミュニケーションを図れるよう工夫した。その他、該当エリアにあるケアプラザのチラシを配布したり、景品を渡したりした。</p>	●10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本の貸し出し事業	<p>【目的】仏向地域は保土ヶ谷図書館までのアクセスが悪く、地区センターやコミュニティハウスも地域ケアプラザエリア内には無い。地域の子育て中のお母さんや高齢者から気軽に本の貸し出しを行えるようにして欲しいと要望があった。本の貸し出し事業を通して広く地域の方々に来館していただく事を目的に事業を実施する事とした。</p> <p>【内容】仏向地域ケアプラザ受付の横に、保土ヶ谷図書館団体貸出より300冊の本を借り、本の貸し出しコーナーを設けた。開館時間内にいつでも貸し出し、返却ができることもあり地域の方々の利用状況も良好。地域の方々の利用が多いため、春夏秋冬、季節ごとに本の入れ替えをし、地域の方々のニーズに合った本を置くようにする。本の貸し出し事業が地域の交流の場にもなっている。</p>	●3月～ 開館日随時 計31回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理発表会 「仏向自慢の野菜食べようぜ」	<p>【目的】男の料理の活動発表の場と仏向の畑で採れた野菜を使って、みんなで一緒に料理を作り、仏向地域への愛着心の向上と多世代交流を図る</p> <p>【内容】仏向の畑で採れた野菜を使った野菜寿司と肉まん作り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプラザから事業の趣旨説明 2. 男の料理の紹介 3. 肉まん作り 4. 野菜寿司作り 5. 肉まんの蒸し時間を利用し、ケアプラザの活動紹介（ムービー上映） 6. 会食・交流 7. 片付け 	●12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活保護についての説明会	<p>【目的】普段から地域との接点が多い、地区社会福祉協議会に対し、生活保護の制度や仕組みについての正しい知識を持ってもらう。</p> <p>これによって、自分からは声を上げられない人たちを一人でも多く掬い上げる一助とすることを目的として行った。</p> <p>【内容】生活保護の実状や制度の仕組みといった、基本的な部分の講義を行った上で、質疑応答の時間を多く設けた。これによって、制度への理解力を上げると共に、地区社会福祉協議会という地域との密着力が高い組織が実際に活動していく上で、現場での対応力を上げることが出来るような工夫を取り入れた。</p>	●12月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
詐欺に負けるな！消費者サギ対策講座	<p>【目的】振り込め詐欺をはじめとして、近年手口の多様化している消費者トラブルについての最新の情報を地域住民に知ってもらい、被害の拡大を防ぐ。</p> <p>また、講座に参加した方からの近隣住民への周知を通して、地域の連帯強化も狙う。</p> <p>【内容】横浜市消費生活総合センターに集積される、実際の詐欺の手口を紹介してもらった。参加者は高齢者が大半だったため、ただスライドによる講義を行うのではなく、DVDやクイズ・ビンゴ形式を取り、参加型の講義を展開した。</p> <p>その後、この講座に参加した地域の自治会から、資料を自治会で配りたいという要望があり、地域での意識の高まりも確認することが出来た。</p>	●12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内包括支援センター合同事業 ノルデックウォーキング	<p>【目的】保土ヶ谷区内ノルデックウォーキングのリーダーと協力しながら、サークルの交流とノルデックの普及啓発を行う。</p> <p>【内容】区内包括支援センター合同事業としてノルディックウォーキングを10月23日に保土ヶ谷公園で開催した。今回は各ケアプラザで活動しているサークルの代表者の方にも、打ち合わせから参加してもらい、場所やコースなどを一緒に考えてもらった。講師として、ラポール横浜の宮地先生にも参加して頂いた。開催にあたっては、一人200円の参加費を徴収し、星川ケアプラザが取りまとめ、ボランティア保険・飲み物・参加賞等で全て支出。</p>	●10月 計1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンス	<p>【目的】初めての方でもステップから指導してもらえ、曲にあわせながら、体を動かし楽しんで運動することにより認知症予防にもつながり、男性の高齢者の介護予防につながる。</p> <p>【内容】1月より毎月第二火曜日に実施。曲のリズムに合わせて、初心者向けのステップを行い、少しずつペアでの動きも取り入れる事でお互いの交流となり、楽しみながら自然に介護予防へ繋がるといった内容。</p>	●1月～3月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防講座	<p>【目的】地域高齢者を対象に認知症について理解を深めてもらうために、認知症とは？という講義により、講義を実施する。認知症に有効とされているコグニサイズの導入を専任講師を招いて実施し、得た知識を日々の活動に取り入れてもらう。</p> <p>【内容】仏向フェスタの体組成計時に65歳以上の方に講座のお知らせをし、希望者を集める。また、掲示板や広報紙を通して早めに周知してもらっていた。講義内容は認知症の動向、物忘れと認知症の違い、認知症の方との接し方、早期発見、早期治療に必要性など。1コグニサイズの運動実施は楽しみながら、介護予防できると好評で、4月から開催予定のいきいきシニア体操につながった。</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保土ケ谷の歴史的建造物公開ウォーキングツアー	<p>【目的】この事業は、「ほどがや語りべ集」の編集に関わった方々と一緒に、企画から運営をおこないます。語りべ集に載っているポイントを中心に、ウォーキングをしながらまちの魅力を再発見するとともに、地域の方々との交流を図ります。</p> <p>【内容】区政推進課の企画である「オープンヘリテイジ」開催に合わせ、洋館付き住宅や教会を見学するウォーキング講座を実施。 1 2月11日（金） 企画会議 2 2月27日（土） 「保土ケ谷の歴史的建造物公開ウォーキングツアー」実施</p>	●2月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【生涯学習】 ボールペン字講座	<p>【目的】「生涯学習」と銘打ち、継続的に講座を開くことで、現時点では介護サービスを必要としていない地域の高齢者の参加を促します。この講座は、「ボールペン字」という日常生活に密接に結びつく部分をテーマとして扱い、「介護」色を薄めることでこれまでケアプラザの事業に参加してこなかった方の参加を狙います。これによって、引きこもりを予防し、認知症等の介護が必要になる状態への進行の予防を目指します。</p> <p>【内容】3/3に第一回を開催し、告知期間が短かったにも関わらず6名の参加を頂きました。その後、ケアプラザの広報紙等での周知を行った結果、4/10時点で13名の登録と6名のキャンセル待ちがいる状況となっています。今後は、連絡なしの欠席が続いた方をキャンセル扱いとし、キャンセル待ちの方を随時組み込んでいく予定となっております。</p>	●3月 計1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】 座ったままできるフラダンス	<p>【目的】上記と同様、「生涯学習」を掲げた講座として行います。フラダンスが「座ったままできる」ことをセールスポイントとし、女性を中心として「体操や運動は立ち続けることが難しい」という思いをお持ちの方の参加を目指します。目的についても「ボールペン字講座」と同様、引きこもり予防につなげ、認知症等の介護が必要になる状態への進行の予防を目指します。</p> <p>【内容】3/24に第一回を開催し、5名の参加を頂きました。その後、上記と同様広報紙等での告知を経て、4/10時点で15名が登録している状況です。今後は、7月もしくは8月をメドに当ケアプラザのデイサービスでの発表会を目標として取り組んで行く予定となっております。</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でフラダンス！～みんなでおどろう～	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供する。</p> <p>② 関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努める。</p> <p>③ 本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機会とする。</p> <p>【内容】ケアプラザの貸室団体、プアメリアの協力を得て、親子でフラダンスを楽しむ機会を提供した。</p> <p>車いすの参加者が半数、全員男子であったが、講師の指導を熱心に見つめ、母親と一緒にフラダンスを楽しんでいた。3歳児の兄弟児には、おもちゃスペースをつくり、スタッフが対応。またプアメリアの小学生女子も一緒におもちゃスペースで。布おもちゃや積み木などを楽しんでいた。</p> <p>ダンスのあとは、お茶会で交流。保護者同士がメールアドレスを交換したり、講師の活動について問い合わせをするなど、積極的な交流ができていた。</p>	●2月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2016春ボランティア研修・説明会	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】区内障がい児者関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会が余暇プログラムを企画。実行委員会のメンバーで、総務、会計、プログラム、ボランティアと4つのグループに分かれ当日まで役割を担った。室内プログラムで、参加者とボランティアがペアになり、模擬店と腹話術の鑑賞とバルーンアートの体験を楽しむ企画をたて、地域へ広報した。ボランティア募集は近隣の高校、大学などに案内を郵送し、説明会を企画し、高校へ出向いた。高校生を中心とした25名のボランティアが参加した。またケアプラザのボランティア10名が調理やレクレーション補助として参加した。実施日前にボランティア説明会を実施し、すみれ園の職員による、ボランティアのいろは、注意事項の説明を行い、障がいの理解に努めた。</p> <p>参加人数の内訳①ボランティア説明会 22名 ②2016春 参加者15名 ボランティア24名 ケアプラザボランティア10名</p> <p>経費については、岩崎地域ケアプラザが取りまとめを行い、総額88,715円でした。</p> <p>そのうち、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業の補助金(92,000円)及び参加費(@500円×15人)を差し引き、残った10,785円は区へ戻しました。</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こんなに簡単！味噌づくり	<p>【目的】少し若い世代にもケアプラザを知って頂くきっかけとして、地域・包括共催で事業を実施します。また、講師を当ケアプラザのケアマネとし、介護保険の説明を行ったり、認知症について説明したり地域で安心して暮らすためのヒントとケアプラザの役割についても伝えます。</p> <p>【内容】講師：飯島裕美氏（仏向地域ケアプラザ ケアマネジャー）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプラザとは 2. 認知症についての寸劇 3. 味噌づくり実習 4. 試食 5. 質疑応答、アンケート 	●2月 計1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
仏向フェスタ	<p>【目的】 仏向地域福祉保健計画にのっとり、「子どもから高齢者まで自然にあいさつができる町」を目指し、地域住民同士の交流の機会を増やすと共に、地域で活動する団体同士のつながり、また団体と住民のつながりも構築していく事を目的として開催する。また、第二期計画であがっていた、認知症についての理解普及も合わせて行っていく。</p> <p>【内容】 連合町内会による「やきそば」、スポーツ推進員による「射的・昔遊び」、地区社協による「おしるこ」、障がい者施設による「物品販売」、更生保護女性会による「ビスケット・あられ」、ケアプラザ利用団体男の料理による「豚汁」、青少年指導員による「カレー」などの模擬店。 区社協による「高齢者疑似体験」、福祉用具事業所による「福祉用具展示」を実施。 館内利用団体や地域団体の発表。 また、認知症についてのクイズ（アンケート）も実施し、出店団体は胸に花をつけ話しかけないとクイズが回答できないという仕掛けを作り、団体と地域住民との繋がりを意識した取り組みとなった。</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張・折り紙教室	<p>【目的】 近隣グループホームで生活する高齢者を対象にレクレーションの一環として折り紙を通して、交流や脳の活性化をはかる。</p> <p>【内容】 5月「立体チューリップ」 7月「やっこスター」</p>	●5月・7月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひよこクラブ夏祭り	<p>【目的】 地域で生まれた子育てサークルの活動継続支援。昨年度会員が減ってしまい、活動が難しくなったと相談のあった子育てサークルでの夏祭り開催企画の支援。</p> <p>【内容】 午前 プール遊び、スイカ割り 午後 やきそば・フランクフルト・ゲーム</p>	●8月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
館内利用団体認知症サポーター養成講座	<p>【目的】 仏向地域ケアプラザ館内利用団体として活動している方々に認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する理解を深めていただきながら、今後も認知症の方々の受け入れも行っていただき、住民同士で見守っていける受け皿として活躍していただける用に実施。</p> <p>【内容】 プログラム 1. 認知症について 2. 認知症への理解 3. 認知症の方への対応 4. 質疑応答</p>	●4月 計1回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】当ケアプラザの担当地域で事業を営む一般事業者を対象とした認知症サポーター養成講座を行います。</p> <p>【内容】左記について、運送事業者を対象に2/9に養成講座を行いました。また、同時に保土ヶ谷区徘徊SOSネットワークについての周知を行い、発見協力機関としての登録を依頼、賛同を得ています。</p>	●2月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
坂本小4-1組との交流会	<p>【目的】一回目はケアプラザの周知、小学生とデイサービス利用者との交流を目的に開催。交流を通して自分たちに何が出来るのか、何をすれば喜んでもらえるのか生徒たちに考えてもらい、二回目の交流会を実施。ケアプラザの役割の推進や小学生の福祉力向上、高齢者への理解に繋げていく。</p> <p>【内容】1回目：11月5日 施設見学、デイサービス利用者と話、体操、質問タイム 2回目：12月3日 小学生が考えてきたプログラムを実施。始めの言葉、歌《北風小僧のかんたろう》、生徒の特技披露、利用者と一緒にお手玉回しゲーム、終わりの言葉。</p>	●11月・12月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
坂本小4-3組との交流会	<p>【目的】一回目はケアプラザの周知、小学生とデイサービス利用者との交流を目的に開催。交流を通して自分たちに何が出来るのか、何をすれば喜んでもらえるのか生徒たちに考えてもらい、二回目の交流会を実施。ケアプラザの役割の推進や小学生の福祉力向上、高齢者への理解に繋げていく。</p> <p>【内容】1回目：11月19日 施設見学、デイサービス利用者と話、体操、質問タイム 2回目：12月22日 始めの言葉、グループ交流（クイズ&トーク、俳句、折り紙、将棋・オセロ、）、歌（ジングルベル）、終わりの言葉。</p>	●11月・12月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
坂本小学校福祉教育（高齢者疑似体験）	<p>【目的】今後地域を支えていくことになる子どもたちに向けて、高齢者が実際にどんな状態で町を歩いているかを体験してもらう。この体験を通して、自分たちにはどういったことが出来るのかを考えてもらい、地域の福祉力の底上げを目指す。</p> <p>【内容】高齢者疑似体験セットや車椅子を用い、実際に高齢者がどういった身体状況かを知ってもらい、普段何気なく行えていることが高齢者にとっては大変さを伴うことを実体験してもらった。また、車椅子を利用した体験については、車椅子に乗る側だけでなく、それを介助する側にもなってもらい、両方の視点で「どうすれば高齢者にとって最も安心・安全か」といった点を考えながら進めるよう工夫して行った。</p>	●11月 計2回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向小学校福祉教育（高齢者疑似体験）	<p>【目的】 今後地域を支えていくことになる子どもたちに向けて、高齢者が実際にどんな状態で町を歩いているかを体験してもらう。</p> <p>この体験を通して、自分たちにはどういったことが出来るのかを考えてもらい、地域の福祉力の底上げを目指す。</p> <p>【内容】 高齢者疑似体験セットを用い、実際に高齢者がどういった身体状況かを知ってもらい、普段何気なく行えていることが高齢者にとっては大変さを伴うことを実体験してもらった。実施の際は、3人一組となり、体験をする一人を残り二人がサポートするという形式を取り、介護する側・される側の両方の視点で「どうすれば高齢者にとって最も安心・安全か」といった点を考えながら進めるよう工夫して行った。</p>	●12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会	<p>4月30日 「ショートステイそこが知りたい」 別養護老人ホーム、介護老人保健施設、小規模多機能、病院など各事業所の相談員が施設概要を説明、ショートステイ受け入れの特徴、連携についてを学ぶ</p> <p>7月1日「清水先生との懇談会」 エリア地域往診医師とケアマネージャーとの懇談会</p> <p>7月31日「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」 保土ヶ谷区内2事業所ある定期巡回・随時対応型ほうもん介護看護事業所、豊穰の大地、フルライフ保土ヶ谷との共同で利用方法、プランの立て方から連携の取り方についての研修。</p> <p>9月30日「届けたい言葉」チャプレン（施設にて牧師をされる方）によるスピリチュアル・ケアによる講義で本人、家族、支援者への支援についての研修を開催。</p> <p>11月27日「精神疾患の理解と支援のコツを学ぶ」訪問看護ステーションみんなのつばさ 精神科認定看護師による対応や疾病について理解の研修</p> <p>3月31日「自治会・地区社会福祉協議会・民児協・ケアマネージャー・訪問介護との懇談会」地域を支える活動報告を参加者全員が行い顔の見える関係づくり。</p>	●4月・7月・9月・ 11月・3月 計6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
事例検討会	<p>5月15日 / 7月17日 / 10月16日 / 2月19日 / 「スーパービジョンの手法を使った事例検討会」 スーパーバイザーとして講師によりケアマネージャーからの困難事例を検討</p>	●5月・7月・10月・2月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張・絵手紙クラブ	<p>【目的】 地区社協のミニデイや自治会・町内会など地域の方の集まりやすい場所に出向き、絵手紙を通じて地域同士の交流を図る。また、自分たちの得意分野がボランティア活動にもつながるといったきっかけ作りとして実施。</p> <p>【内容】 自主事業絵手紙クラブの参加者が地域の方の集まりやすい拠点に出向き、一緒に季節の花や野菜をモチーフに絵手紙の作成を通して交流する。</p>	●5月・9月 計2回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いつまでもおいしく食べられるために	<p>【目的】 地域高齢者の基本チェックリストで口腔機能低下の該当者及び希望者に対し、歯科衛生士により講話及び指導を受ける</p> <p>【内容】 口腔機能の維持をはかる為に①ブラッシングの仕方、②食事の時に必要な口腔筋肉のしくみ、③健口体操④咀嚼力の測定など</p>	●6月、9月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きちんと食べられていますか	<p>【目的】 地域高齢者の基本チェックリストで栄養状態の低下に該当者および希望者に対し、栄養士により講話および指導を受ける</p> <p>【内容】 栄養状態の問題がある方および自身の食生活を振り返り、栄養士の講話を通して、学べる機会とする。①バランスのよい食事とは ②水分がむせる方に対してトロミ材の利用の紹介など</p>	●9月 年1回